



平成19年 4月19日

国土交通省道路局長 様

北海道樺戸郡浦臼町
浦臼町長 山本 要



意見の提出について

道路整備の姿を示す中期的な計画の作成にあたって、次のとおり意見を提出致します。

■重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

1. 【国際競争を高めるための道路網と道路機能の整備】

北海道は国民の食糧基地などとして、我が国にとって重要な位置付けにあるが、近年アジア地域にとっても大きな存在となってきた。このため、世界各国との自由貿易という長期展望のもと、道内空港の拡大整備と、道内拠点都市と各空港を結ぶ機能の高い道路と道路網の整備はなによりも急がれるので、このための道路及び開発予算は確保すべきで、計画に明記すべきである。

2. 【都市の機能と地方の格差を補う道路網の整備及び冬期間の除排雪】

過疎地域といわれる地方に暮らす人々にとって、都市に暮らす人々との格差を認識しやむを得ないと自覚をしつつも、この格差を補うものは、道路網の整備であり、公共交通体制の整備だと考えております。このため、都市と地方を結ぶ新たな道路網と現道改修、冬期間の除排雪の予算は確保するべきで、計画に明記してほしいと思います。

3. 【災害や交通事故、観光渋滞などの対策としての安全安心な道路整備】

北海道の道路は都府県に比べて、広大な行政区域などから道路密度は低いと思われれます。このため、大災害発生時の代替道路、大型交通事故の迂回道路、観光時期渋滞対策道路など、道民生活の日常に係る道路網の整備は、計画に明記されるべきと考えます。

■効率化を徹底的に進めることで重視すべきこと

1. 【国道、都道府県道、市町村道を結ぶ道路網の整備】

各道路の管理者は相互連携を図りながら、各道路をつなぐ道路網を整備することにより、無駄をはぶき利用者の利便性を高めることの検討を示すべきだと考えております。